



LIONS QUEST 認定講師養成

2018-2019 年度 講師候補者募集要項

LIONS QUEST「ライフスキル教育プログラム」ワークショップの講師である「LIONS QUEST 認定講師」の候補者を募集します。

LIONS QUEST（ライオンズクエスト）認定講師は、ワークショップのファシリテーターとして、参加者のプログラム実践の準備を支援・促進します。また、認定講師としてのワークショップ運営のみならず、ライオンズクエストプログラムの普及活動全般に関わります。

ライフスキル教育およびライオンズクエストの実践経験者、そしてワークショップの講師＝ファシリテーターとして、ライオンズクエスト普及活動への参加を希望される方は、是非、応募をご検討ください。

【LIONS QUEST 認定講師候補者の募集・選考の概要】

- 募集人数：若干名
- 募集期間／選考期間：

	募集期間	選考期間
前期	2018年9月11日～11月9日	第一次（書類）：11月中旬 第二次（面接）：11月下旬～12月初旬
後期	2019年1月7日～2月28日	第一次（書類）：3月初旬 第二次（面接）：3月中旬～下旬

- 選考過程：
 - 第一次選考：応募書類（履歴書、申請書等）による選考
 - 第二次選考：第一次選考を通過した応募者との面接による選考

1 ライオンズクエスト認定講師について

- 1.1 ライオンズクエスト認定講師は、ライオンズクエスト「ライフスキル教育」プログラムのワークショップ（研修会）の講師（ファシリテーター）です。
- 1.2 ワークショップは、子ども・青少年にライオンズクエストプログラムを使用してライフスキル教育を実施する指導者（教師や青少年活動指導者など）がプログラムの考え方や内容、指導方法を学ぶ研修会です。
- 1.3 講師は、ファシリテーターとして、ワークショップ参加者の主体的な学び、参加者同士の対話的な学び合いを手引きし、プログラム実践の準備を支援・促進します。
- 1.4 ワークショップは、所定の養成課程を修了した認定講師によってのみ実施され、ワー

クショップで学ぶ内容の一貫性を確保しています。

- 1.5 認定講師はワークショップの講師の他、体験セミナーや講演会などの講師も務め、様々なかたちでライオンズクエストの普及活動に関わっています。

2 ライオンズクエスト認定講師養成課程について

- 2.1 ライオンズクエストのワークショップ講師を養成する「ライオンズクエスト認定講師養成課程」は、プログラムの著作権を所有するライオンズクラブ国際財団 (LCIF) が規定しています。養成課程の詳細は、「5. ライオンズクエスト認定講師養成課程の流れ」を参照してください。
- 2.2 各国での認定講師養成は、LCIF から指定を受けた当該国の普及事務局 (Country Office) が実施します。日本では、LCIF より普及事務局に指定されている特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD) が実施します。
- 2.3 講師養成の必要性は、当該国での普及活動の拡大計画や、他国から認定講師を招聘した場合と比較した費用対効果などの中長期的な展望の観点から判断され、当該国の普及事務局より LCIF へ要請し、LCIF の承認を得て実施されます。
- 2.4 講師養成課程を受講する講師候補者は、LCIF が規定する要件を満たす者の中から、普及事務局とライオンズクエスト認定上級講師が選考し、LCIF へ報告します。講師候補者の要件と選考過程については、「3. ライオンズクエスト認定講師候補者の要件について」と「4. ライオンズクエスト認定講師候補者の選考過程について」を参照してください。
- 2.5 ライオンズクエスト認定上級講師は、講師養成課程において講師候補者への指導を行います。認定上級講師は、認定講師の中から選考され、LCIF が規定する認定上級講師の養成課程を修了し、LCIF より認定された者です。
- 2.6 認定講師養成への認定上級講師の任命は、当該国に認定上級講師がいる場合は当該国の普及事務局が行い、いない場合は LCIF が行います。なお、現在、日本には 1 名の認定上級講師がおり、日本での認定講師養成への認定上級講師の任命は JIYD が行います。
- 2.7 講師候補者の講師養成課程の修了 (講師認定) は、養成課程を指導する認定上級講師から普及事務局と LCIF への報告に基づき、LCIF が認定します。
- 2.8 講師養成課程における講師候補者の費用負担はありません。また、講師養成課程中の講師候補者への報酬の支払いもありません。講師養成課程で発生する講師候補者の旅費交通費やその他の必要経費は、講師候補者と普及事務局との間で実費清算されます。

3 ライオンズクエスト認定講師候補者の要件について

- 3.1 LCIF が規定する講師候補者の基本的な要件は、以下の通りです。

- ① 修士の学位を修めている。
- ② ライオンズクエスト「ライフスキル教育」プログラムの対象年齢層の子ども・青少年 (児童・生徒) への教育指導の実施経験を有している。

- ③ 教師などの大人の教育関係者への教育指導の実施経験を有している。
 - ④ 振り返りやフィードバックを含む、ファシリテーターやメンター（指導・指南役）としての研修実施経験を有している。
- 3.2 3.1の要件に加えて、以下の点も満たしていることが前提です。
- ⑤ 当該国でのライオンズクエストのワークショップを修了している。
 - ⑥ ライオンズクエストの系統的・継続的な授業実施の経験を有している。
- 3.3 なお、3.1および3.2の要件について同等の資格・経験を有している、または候補者として相応であると認定上級講師および普及事務局が認めた場合は、この限りではありません。

4 ライオンズクエスト認定講師候補者の選考について

- 4.1 講師候補者の選考は、以下の2段階に分けて行います。
- ① 第一次選考：応募書類による選考
 - ② 第二次選考：第一次選考を通過した応募者との面接による選考
- 4.2 第一次選考（書類選考）と第二次選考（面接選考）は、「ライオンズクエスト認定講師候補者選考委員会」によって行われます。選考委員会は、普及事務局（JIYD）の理事と事務局長（Country Director）、認定上級講師、外部有識者で構成され、選考委員会の構成員は普及事務局の理事会で選任されます。
- 4.3 応募者全員が、選考委員会での選考を経て、講師候補者になるとは限りません。選考結果の理由は非公開です。また、選考委員会から選考された講師候補者が認定講師になるか否かは、認定講師養成課程の修了によって判断され、講師候補者が必ず認定講師になるとは限りません。

【講師候補者選考過程の流れ】

#	項目	備考
1	募集締切	応募書類の受理はメールで通知。
2	第一選考(書類選考)	
3	第一次選考結果の通知	合否の通知は書面による。 合格者には、書面にて第二次選考の受諾の意思を確認し、第二次選考の必要書類と開催日時を通知する。
4	第二次選考(面接選考)	
5	第二次選考結果の通知	合否の通知は書面による。 合格者には、後日、講師養成課程の説明会(オリエンテーション)の日時を通知する。
6	LCIF への選考結果の報告	普及事務局より LCIF へ選考結果を報告する。

5 ライオンズクエスト認定講師養成課程の流れ

- 5.1 ライオンズクエスト認定講師養成過程は、普及事務局（又は LCIF）が任命したライオンズクエスト認定上級講師の指導のもと、以下の「ライオンズクエスト認定講師養成過程の流れ（例）」に沿って実施されます。
- 5.2 講師候補者は、過去にライオンズクエストのワークショップを修了していることが必須ですが、ワークショップの受講時期によっては、認定上級講師の判断により、改めてワークショップに参加することを求める場合があります。
- 5.3 講師養成過程は、以下のとおり、実際のワークショップ開催の機会を利用して実施され、またワークショップ見学、コーリード・ワークショップなどの各ステップ間に認定上級講師によるコーチングが入ります。
- ① オリエンテーション (Orientation) : 講師候補者と認定上級講師で認定養成過程の全体の流れを確認します。また、講師候補者は認定講師用のワークショップ・マニュアルを受け取り、認定上級講師より同マニュアルの使い方やワークショップの構成について、説明を受けます。
 - ② ワークショップ見学 (Observation Workshop) : 講師候補者は、講師の視点で、認定上級講師が実施するワークショップを観察します。また、ワークショップの中で、認定上級講師の指示のもと、活動の一部（エネジャイザーなど）を実施します。なお、ワークショップ見学に先立ち、その準備の為のコーチングを認定上級講師より受けます。コーチングの日数は約 1 日間で、前項の「オリエンテーション」と合わせて実施する場合があります。
 - ③ コーリード・ワークショップ (Co-Lead Workshop) : コーリード・ワークショップでは、講師候補者と認定上級講師が分担してワークショップを実施し、講師候補者はワークショップ全体の半分の実施を受け持ちます。標準的にはコーリード・ワークショップを 2 回実施し、講師候補者は 2 回の実施を通じてワークショップ全体の実施を受け持つこととなります。なお、コーリード・ワークショップを実施する前に、講師候補者はワークショップ・マニュアルをもとに自身のワークショップ台本を準備し、併せて、認定上級講師によるコーチングを受けます。コーチングの標準的な日数は 2 日間です。
 - ④ ソロ・ワークショップ (Solo Workshop) : ソロ・ワークショップでは、講師候補者は、認定上級講師の監督のもと、1 人で全体のワークショップを実施します。なお、ソロ・ワークショップを実施する前に、講師候補者は認定上級講師によるコーチングを受けます。コーチングの標準的な日数は 1 日間です。ソロ・ワークショップは、認定上級講師の判断により、2 回実施する場合があります。
- 5.4 以上の講師養成課程において、一つのステップから次のステップへ移行する判断は、認定上級講師に委ねられます。
- 5.5 認定講師養成の全課程に必要な期間は、大凡、半年から 1 年間です。講師候補者の養成課程の進捗やワークショップ開催日程の関係で、事前に確定することはありません。

【ライオンズクエスト認定講師養成過程の流れ（例）】

#	項目	備考	候補者	上級講師	日数 (目安)
オプション	ワークショップ(WS)への参加		○		2
1	オリエンテーション	養成課程の確認	○	○	1
2	コーチング	WS 見学の準備	○	○	1
3	ワークショップ見学		○	○	2
4	ワークショップの台本作成		○		
5	コーチング(1回目)	コーリード WS の準備	○	○	2
6	コーリード・ワークショップ(1回目)		○	○	2
7	コーチング(2回目)	コーリード WS の準備	○	○	2
8	コーリード・WS(2回目)		○	○	2
9	コーチング(3回目)	ソロ WS の準備	○	○	1
10	ソロ・ワークショップ(1回目)		○	○	2
オプション	コーチング(4回目)	ソロ WS の準備	○	○	1
オプション	ソロ・ワークショップ(2回目)		○	○	2

6 ライオンズクエスト認定講師候補者への応募方法について

● 応募方法

下記の応募資料を応募資料送付先に送付してください。応募資料の受理はメールにて通知します。

➤ 応募資料

① LIONS QUEST 認定講師養成 講師候補者履歴書・申請書

② LIONS QUEST 認定講師養成 講師候補者自己チェックシート

➤ 以上の資料に加えて、動画（授業・指導実施の様子）を求める場合があります。動画の内容は、申請者が子ども・青少年に対して、ライオンズクエストの授業を実施している様子、又は成人の教育関係者に対して教育指導を実施している様子を写したものです。長さは、授業の場合は1授業分、教育指導の場合は10分程度。

➤ 応募資料①と②のフォーマット（MS Word 形式）は、下記の URL からダウンロードしてください。

➤ 必要事項を記入した応募資料を印刷して下記の送付先まで送付してください。また、記入したデータ（MS Word 形式）も合わせてメール添付で送付先にあるメールアドレスまで送信ください。

【応募資料ダウンロード URL】

<http://lionsquest-japan.org/news/1808/>

【応募資料送付先】

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム
ライオンズクエスト認定講師候補者選考委員会 宛
〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-63-302
Tel. 03-3440-3373
E-mail. info@jiyd.org

- 募集期間
 - 前期： 2018年9月11日（火）～11月9日（金）
 - 後期： 2019年1月7日（月）～2月28日（金）
 - 応募資料は各募集期間の末日必着
- 募集人数： 若干名

以上



【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム（JIYD）
Lions Quest プログラム普及事務局
担当：鈴木、馬淵
〒108-0074 東京都港区高輪 4-10-63-302
TEL 03-3440-3373 / FAX 03-3440-4447 / MAIL info@jiyd.org
団体 URL <http://www.jiyd.org>
Lions Quest プログラム URL <http://lionsquest-japan.org>